

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅱ		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾	B309	shsuzuki	水曜日 12:10～12:50		
授業の目的・概要	<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ」で学んだキャリア心理学に関する基本的な知識や理解をさらに深めるとともに、自分自身が目指す将来像を整理するために、心理学に基づく自己分析を行い、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解し、必要な知識や技術を身につけることを目的とする。 <概要>自己及び人間社会に理解を深めるために、キャリア心理学に関するワーク及び調査・分析を行い、個別課題の改善とプレゼンテーションを繰り返し実施する等の演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、心理学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	キャリア心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HC(5)	
②	心理学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。			HC(4)	
③	心理学の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。			HC(5)	
④	多面的かつ効果的な工夫を凝らして、成果を発表することができる。			HC(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅰ」の総括及び各自「福祉心理学専門演習Ⅱ」の学修目標について発表を行う。	講義・演習	発表の準備を行う。		2
2	キャリア心理学(2) 自己分析方法及び自己表現について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法及び自己表現について調べる。		2
3	キャリア心理学(2) 自己分析方法及び自己表現について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の方法及び自己表現について調べ理解を深める。		2
4	キャリア心理学(3) 自己分析の方法及び自己表現の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法及び自己理解の重要性と社会貢献の概要を調べ学んだことを整理する。		2
5	キャリア心理学(3) 自己分析の方法及び自己表現の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ②。	講義・演習	関心のある業界及び業種や職種について調べ整理し考察し、発表準備、リハーサルを行う。		4
6	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ①。	プレゼンテーション	発表、討議を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する		4
7					4
8	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について調べる。		3
9	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ③。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びを整理する。		3
10	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ④。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びを考察する。		3
11	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びの考察を吟味する。。		3
12	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びについて、発表準備、リハーサルを行う。		6

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

13	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ②。	プレゼンテーション	発表、討議を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。「福祉心理学専門演習Ⅲ」に向けて学習目標をたてる。	6			
14				6			
15	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を各自で整理する。	10			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	60	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	25	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	5	15
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	✓	3種の発表会において、求められる課題テーマに応じて、現代社会の諸問題に関する心理学的知識を踏まえた上で、自ら発見・思考した内容をコミュニケーション豊かに表現する発表となっているか、その内容や技術などについて総合的に評価する。				発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
その他	①	✓	発表会の準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組み、各ゼミ内における発表予行でも必要十分なグループ検討への参画を担える積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。				ワークに関しては各自にコメントを付し返却する。授業内で講評を行う。発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	該当せず						
そ の 他	瀧口、鈴木、高田クラスが開講される。学生は必ずいずれかの担当教員のクラスに所属すること。生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合対面授業の参加を認めない場合もある。						